

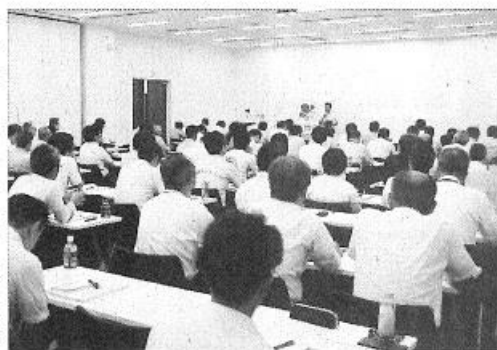
令和元年9月18日付【日本下水道新聞】

災害時支援者養成講習会

＜災害査定等の知見を共有 早期復旧への支援者育成＞

水コン協 災害時支援者養成講習会

災害査定等の知見を共有 早期復旧へ支援者育成



大阪会場では100人超が参加

全国上下水道コンサル
タント協会（村上雅亮会
長）は東京・大阪の2会
場で、災害時支援者育成
講習会を開催した。水コ
ン協では災害査定資料の
作成業務等を支援してい
るが、同資料の作成には
経験等が欠かせないこと
から継続的な災害時支援
者の養成を目的に今年度
から新たに開催したもの
。下水道施設の災害復

旧をテーマに、被災地で
災害復旧支援を担った事
業体職員や同協会会員ら
を講師に迎え、被害調査
や災害査定資料の作成な
ど早期復旧に欠かせない
対応やノウハウの共有を
図った。

大阪会場では、基調講
演としてクリアウォータ
ーOSAKAの大野敏仁
経営企画部営業企画課長
が登壇したほか、管路や

処理場・ポンプ場などの
下水道施設における災害
復旧のポイントを水コン
協災害時支援委員会災害
時支援者育成小委員会メ
ンバーらが解説。水コン
協会員や自治体職員など
100人を超える参加が
熱心に耳を傾けた。

基調講演で大野課長は
大都市ルールに基づいて
活動を行った平成28年熊
本地震での支援の流れを
説明しながら、「平常時
から（被災したら）どの
地区から調査するかを
考えておくべき」とアド
バイス。熊本地震におけ
る支援のポイントとして
「行政だけでなく、水コ
ン協や日本下水道管路管
理業協会と連携を図った
ことで、より早期の調査
対応ができた」と民間団
体との協働の必要性を挙
げた。